

(別紙4(2))

事業所名:グループホームふるかわ

作成日:令和2年 9月 3日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	2	古川町老人クラブも活動休止中であり、お互いに寂しい状況にあり、コロナ禍にて、地域との交流が途絶えている。家族の面会も控えていただき、なじみの喫茶店や買い物などの外出も自粛中。地域との交流や、入居者様の活動において、新しい方法を探すことが課題。	(ご家族や地域と)直接顔を合わせた交流ができなくても、新しい形での交流、つながりが持てるようにする。	①入居者と職員にて、老人クラブさんなどの地域の方やご家族に向けて絵手紙を作成。絵手紙は絵を描く、塗る、スタンプ形式などその方のできる方法にて全員ができるように支援。 ②入居者と担当職員と一緒に写真を撮り、ふるかわ新聞にのせ、ご家族に担当がわかるようにする。	12ヶ月
2	35	災害対策 火災、地震、水害、津波など状況に応じた訓練が十分行えていない。ホーム内だけの訓練にとどまっている。	水害時の避難場所である包括棟2階への避難訓練ができる。	①入居者様に参加していただき階段を使っただけ訓練を行う。、ホーム以外の関係者へも協力をお願いして行う。	12ヶ月
3	49	コロナ禍で、入居者様も以前のように、なじみの喫茶店や買い物など外出を自粛していただいている。ホーム内だけの活動にとどまってしまう。	外出はできなくても、地元の懐かしさを感じる、また行ったことのない地域に触れ合える機会を作り、活動につなげる。	①入居者様のなじみの喫茶店や地域でのテイクアウトのものがあれば取り寄せ、皆で楽しむ。 ②地方の特産品など取り寄せたり、その土地の歌をレクに取り入れるなどし、活動に取り入れる。	12ヶ月
4	33	看取り実績はなく、介護職員は看取りへの理解はしていても不安に思っている。(職員間で話し合い、看取りへの考えや段取りなど共通理解としてゆく機会を設ける。)	職員間で看取りについての疑問が解消される。	①職員に看取りについてのイメージや不安に思っていることについて意見を求める。 ②看取りについての考えや段取りを確立し、マニュアルとして整備する。	12ヶ月

5			ヶ月
---	--	--	----

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。